

【42】平成5年7月12日北海道南西沖地震 奥尻島青苗地区空撮

(1分32秒) - 映像解説 -

<映像の概要>

映像は、奥尻島南端にある青苗（あおなえ）地区を、地震発生の翌日に飛行機により空から撮影したものです。

<災害の概要>

平成5年（1993年）7月12日（月）、午後10時17分に、北海道南西の奥尻島付近の海底で起きた地震です。地震が起きてから2～3分後に津波が奥尻町におしよせたとみられ、津波が起きたことを人々に知らせるのも間に合いませんでした。津波の高さが約30mになったところもあったといわれています。この地震によって亡くなったり行方が分からなくなった人198人のうち、ほとんどは津波によるものでした。また、奥尻町の青苗（あおなえ）地区で起きた火災が燃え広がり、地区のほとんどが焼け野原になりました。

<映像の流れ>

映像は以下の流れのとおりです。

見出し	内容
青苗地区 (00:00~01:32付近)	奥尻島南端にある青苗地区の地震発生の翌日の状況です。地区のほとんどが焼け野原になっています。